

12 虫を使って害虫を退治する

環境園芸学部 環境園芸学科 自然環境専攻 准教授 新谷喜紀

講座要旨

農業における害虫防除法の中心は農薬の使用ですが、現在使われているほとんどの農薬は害虫以外の生物にも悪影響があるなど、様々な問題が指摘されています。「必要以上に農薬を使用しないために、他のいろいろな方法も矛盾なく組み合わせて害虫を防除し、被害が少ないなら害虫の存在は認める」という総合的害虫管理の考えに基づいて、種々の害虫防除法が考案されてきました。その中には、虫の持つ行動の特性を利用したものや、害虫の天敵となる昆虫を利用したものがああります。この講座ではこれらの害虫防除法の研究例と実際の応用場面を紹介します。



履 歴

1990年 東京大学農学部卒業
1997年 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了
1997年 東京大学アジア生物資源環境研究センター研究員
1999年 日本学術振興会特別研究員(大阪市立大学)
2002年 北陸研究センター研究員
2004年 南九州大学園芸学部園芸学科専任講師
2005年 南九州大学園芸学部園芸学科准教授

担当科目

昆虫学、動物生態学、動物分類学、動物生理学、自然環境実習、総合防除論